アンコンシャスバイアス（無意識の偏見）を自覚し、マイクロアグレッション（他者への些細な攻撃）をしないように心がけよう！！

参加者感想より

女性部サマーワークショップ

7月25日、ラッセホールで、「性にとらわれず自分らしく生きよう～笑顔で両立するために～」をテーマに、19女性部サマーワークショップが開催され、150人が参加した。

講座Ⅰ　勝木洋子さんによる講演の様子

講座Ⅰ

勝木洋子さん（神戸親和女子大学教授）を講師に招き、「なぜ『性別で分けない名簿』についてとりくむのか」と題した講演を受けた。

合理的な理由なく男女別に分けることについては、「性差別である」と問題提起し、全国でとりくみをすすめてきた。日教組がおこなった16年の実態調査では、「性別で分けない出席簿の全校実施」は81．9％、「性別で分けない児童生徒名簿実施」についても81．9％と前回よりも若干すすんだものの、実施できない理由として「共通理解の不足」「一方的な決定」の他に「男女別の方が指導しやすい」「問題意識がない」などがあげられている。

すでに実施されている学校も含め、学校の中には、名簿をはじめ靴箱など、男女であらかじめ分けられている多くの実態が、隠れたカリキュラムとして無意識に性別役割分担意識を刷り込むことにつながっている。また性が二つしかないと考えること、思春期を「誰でも異性を気にし始める時期」ととらえることなどが、性的マイノリティーの子どもたちを苦しめている。「性別で分けない名簿等のとりくみ」をすすめる中で、学校がすべての子どもにとって居心地のいい場所になっているかを見直し、変えていくことが必要と述べた。

ジェンダーの主流化は世界共通の認識である。これまでのとりくみを再確認し、今後も男女別名簿の問題点や意義を若い世代に伝え、課題を共有して、まだ見直されていない学校や地域に広げる努力が必要である。さらに名簿に限らず、「隠れたカリキュラム」を敏感に感じとり、一つひとつ正していくとりくみが必要である。ジェンダーを人権教育の重要な視点ととらえ、ジェンダー平等教育を推進し、教育環境整備をすすめていこうと呼びかけた。

○参加者のアンケートより

▼男女混合名簿になっており、当たり前のような感覚になっているが、それが当たり前ではない地域もあることを知った。たかが名簿とは言えないものだと思った。

▼固定概念にとらわれず、意識して子どもたちと関わっていかなければならない。

▼名簿ひとつから男女ということだけでなく、ジェンダーや平等、人間の多様性について、改めて考えさせられた。

講座Ⅱ

兵庫教育文化研究所・ジェンダー平等教育部会から、「教科の中の隠れたカリキュラム」をテーマに、授業実践の提案などを受けた。固定的性別役割分担意識について、さまざまな学校現場での事例を寸劇にした問題提起を受け、参加者同士が意見交流した後、課題についての解説があった。参加者にとって身近な事例だったため、わかりやすく、気づきも多く、教職員の人権意識の大切さを考える機会となった。

▲講座Ⅱ ジェンダー平等部会による寸劇

○参加者のアンケートより

▼道徳の教科書では、知らないうちに男女の役割が刷り込まれていたので、しっかり教材研究をして授業にのぞみたい。

▼道徳が知らず知らずのうちに考えの押し付けになっていることに気づかされた。

分科会

第1分科会

第1分科会では、山崎達雄さん（社会保険労務士）から「未来のあなたのために～今から考える教職員のライフプランニング～」と題した講座があった。

○参加者のアンケートより

▼老後の資金について考えたことがなかったので、今後の生活を見直していきたい。

▼お金の貯め方や増やし方を教えていただき、とても勉強になった。

▼環境をつくりたい。

▼「恩送り」が印象に残った。自分が妊娠中にしてもらったことを、また別の人に返せるようにしたい。

▲第2分科会の様子

第2分科会

第2分科会では、段林智子さん（くるみ助産院医院長）から「妊娠中の女性の体の変化と管理方法について」と題した講座があった。

○参加者のアンケートより

▼妊娠されている方だけでなく、みんなが安心して仕事ができ、助け合える職場

▲第1分科会の様子

第3分科会

第3分科会では、森谷尚史さん（芦屋）と花折了介さん（姫路）から「男性の育休取得の促進について」と題した講座があった。

○参加者のアンケートより

▼育休を取得すると迷惑をかけると思わせない仲間の言葉かけやフォローをしっかりしていきたい。

▼育休取得にむけての制度の充実・とりくみを広めていきたい。

▲第3分科会の様子

竹林で流しそうめん
淡路市立多賀小学校　3年
岡　沙里
（こどもの詩と絵　第39集より）

教育ひょうご
発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10－8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合代表者 川原芳和
編集人 小西宏典
電話 050（3538）2346
1部15円　年定価360円
（組合員の購読料は組合費の中に含む）
2019/8・15
No. 1981
2面
・2019年度近畿・北陸・東海ブロック合同 障害児教育学習会

自動車共済
教職員のためだけの共済だから
「公務中」「通勤中」の事故は等級ダウンなし！

公務中の事故　どの契約コースでも「等級据置」だから更新時の掛金アップなし！
通勤中の事故　補償充実コース6等級以上なら「等級据置」だから更新時の掛金アップなし！
1共済期間につき1回

ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書（契約概要・注意喚起情報）をご覧いただき、制度内容をご確認ください。

あんしんむすぶ
教職員共済
資料請求 お問い合わせは
教職員共済生活協同組合 兵庫県事業所
〒650-0004
神戸市中央区中山手通4丁目10-8
ラッセホール4F
電話（078）221-9730
FAX（078）221-1199
承 19-56-02（1907）

19年度 近畿・北陸・東海ブロック（三ブロ）合同 障害児教育学習会 〈in 兵庫〉

7月26日・27日の2日間ラッセホールで、「19近畿・北陸・東海ブロ）合同による障害児教育学習会」が開催され、のべ160人が参加した。日教組インクルーシブ教育・障害児教育部長の佐伯安彦さんによる中央情勢報告に続き、全体会では、谷口吉一さん（日教組障害児教育部常任委員・兵教組障害児教育部部長）をコーディネーターに、鍛冶克哉さん（自立生活センター・メインストリーム協会スタッフ）、目良知美さん（インクルネット西宮代表）、崔栄繁さん（DPI日本会議議長補佐）の3人をパネリストに、「地域で生きること～人生を一本の幹に～」と題したシンポジウムをおこなった。（要旨）その後、4つの分科会に分かれて討議し、交流を深めた。

シンポジウム（要旨）

インクルネット西宮代表の目良知美さんは、「もっと障害者と一緒に生活をして、障害のことを知ってほしい。知る前から無理と言わず、やってみてから調整していけばいい。ただ、良かれと思ってやるのではなく、事前にたくさん話したうえで、一緒に考えていきましょう。健常児と障害児が同じクラスで生活していると、あいさつ等、当たり前のことが障害児にとって必要でプラスになる。その一方で、健常児にとっても障害児と関わることでプラスになることがたくさんある。同年代の子どもたちと一緒に過ごすことで『社会性』が養われる。『差別しないようにしましょう』と勉強するよりも、障害児と健常児が一緒の教室で生活することが、『共生社会』を創り出す。子どもに様々なことを教えている教職員の皆さんが変われば、もっと世の中が変わっていくと思う。ぜひ教職員の皆さんの力を貸してください」と述べた。

メインストリーム協会スタッフの鍛冶克哉さんは、「なぜ、世間一般には、障害者のことが知られていなかったり、間違った解釈をされていたりするのだろうか。それは、日本の社会が障害者権利条約のめざすインクルーシブ社会から遠ざかるばかりで、良かれと思って分離され続けているせいで、互いを知らないからである。私が小学生の時、当時のクラスメートは、『障害者の鍛冶克哉』ではなく、『一人のクラスメート・一人の人間、鍛冶克哉』として接してくれた。当時の担任の先生も同様で、もし担任の先生が『鍛冶君は障害者だから仕方ない』という方向でクラスを運営していたならば、私の人生は全く違うものになっていた。障害がある人にとって暮らしやすい社会は誰にとっても暮らしやすい社会のはずなように、まず社会の縮図である学校こそが、合理的配慮を基にした環境にあるべきである。本来小学校入学時点で障害児だからといって、支援学級、もしくは通常学級、支援学校と分けられること自体、私は差別だと思う」と自身の体験を語った。

DPI日本会議議長補佐の崔栄繁さんは、「障害児が大人になるとか自立したらどうなるのかというイメージは持つべきである。障害者権利条約には、『地域で自立した生活をおくる権利』とある。『自立』とは、2時間かけてスーツを着るということではない。必要な支援を受けながら、どこで誰とどのように生活をするか決めること、つまり『自己決定』できることである。しかし、学校教育法の『自立』は『身辺自立』のことを言っており、これが特別支援教育・障害児教育の目的になっている。世界がめざしているインクルーシブ教育とは方向性が違う。自分でできるようになることも大切であるが、周りを変えていく必要がある。地域で暮らすことを前提に考え、障害者だけでなく、すべての人が自立依存先を増やし、一緒に活動できるよう、考えていきましょう」と呼びかけた。

○参加者のアンケートより

・「自立」に対する定義が今後の実践に生かしていけると思った。

・まずは受け入れて、一緒に楽しみながらどうするのか考えることが大切であると学んだ。

・地域で生きる、地域とつながることの大切さを再度認識した。

分科会

第1分科会では、「就学と学習の権利保障」をテーマに討議がなされた。大阪府教職員組合の金山将之さんによる「わたしはわたしの意思で動きたい！～電動車いすと呼吸器はわたしの一部～」と、奈良教職員組合の水野智加さんによる「子どもが教えてくれたもの」のリポートが報告された。

第１分科会の様子

第2分科会では、「教育内容の創造と集団づくり」をテーマに討論がなされた。第2分科会Aでは、福井県教職員組合の田中裕子さんによる「社会参加を見すえ、学級との連携を重視した自立活動のあり方～通級指導教室のとりくみ～」と、兵庫県教職員組合（芦屋）の小出貴浩さんによる「特別支援学級の児童と原学級の児童をつなぐ支援～Aさんとの関わりを通して～」のリポートが報告された。

第２分科会Ａの様子

第2分科会Bでは、福井県教職員組合の山本陽一さんと辻なつきさんによる「共に学び育ち合う授業づくり～主体性を育み、人と関わり合える支援のあり方～」、滋賀県教職員組合の真鍋裕子さんによる「Aさんと1年4組のなかまたち」、石川県教職員組合の和田理江子さんによる「A児を通して考えたこと」のリポートが報告された。

第２分科会Ｂの様子

第3分科会では、「進路保障」をテーマに討議がなされた。大阪府教職員組合の木村悠さんによる「松高坂『子ども食堂』のとりくみ～『産業社会と人間』の授業をきっかけに～」と、兵庫県教職員組合（姫路）の進藤昌浩さんによる「友だちを増やしたい～インクルーシブへの道のり～」、兵庫高等学校教職員組合の岩井誠さんによる「通級指導における現状と課題」のリポートが報告された。

第３分科会の様子

第4分科会では、「寄宿舎のとりくみ」をテーマに討議がなされた。富山県教職員組合の川村豊子さんによる「生活力の向上をめざした支援のあり方～寄宿舎生活のいろいろな場面を通して、自分の思いや意見を伝えることをめざしたとりくみ～」と、兵庫高等学校教職員組合の船脇吉広さんによる「舎内での携帯電話の使用について」、新潟県教職員組合の東本恵さんによる「入舎実態から考察する寄宿舎のあり方」のリポートが報告された。

第４分科会の様子

○参加者からの感想

▼第1分科会　差別ではないかと思うような学校のシステムが残ってしまっている現状を知った。地域が解消していかなくてはならない（大阪）

▼第2分科会B　自分が当たり前だと思っていたことが、他府県では当たり前ではないことやその逆もあった。今後にいかしたい（兵庫）

▼第3分科会　学校がまず変わらなければならない（京都）

兵庫県教育会館 ラッセホール 70th Anniversary

永年のご愛顧に感謝を込めて
兵庫県教育会館 ラッセホール
70周年記念フェア

Lasse Hall
人集い、街華やぐ交流拠点
2019 Summer

Fleur Lasse Hall Infomation
フルール 2019年6月号
「兵庫県教育会館」は、1949年に創業し、70年を迎える事ができました。永年に渡り、ご利用のお客様に感謝の気持ちを込めて「70周年記念フェア」を開催いたします。

第二弾
サマーバンケットプラン

2019年6/1(土) ▸▸ 2019年9/30(月)
夏の納涼会、同窓会、各種ご宴会など、様々なシーンに
2時間制 20名様～

写真はイメージです

お料理＋フリードリンク
ブッフェ形式にすると、料理が一品(おまかせ)追加でさらにお得に！ 特典 日曜日・祝日・お盆期間(11日～15日)のご利用…フリードリンク1アイテム追加、または一文字看板サービス

Aコース 和・洋 料理 お一人様(税金・サービス料込) 5,000円
◆白身魚と野菜のマリネ
◆イタリア産モッツァレラと兵庫県産トマトのサラダ
◆サーモンの薄造里 淡路玉葱添え
◆枝豆蓮根寄せ
◆フィッシュ&チップス
◆シュリンプピラフ
◆タイ風チキングリル
◆兵庫県産葱の冷やしおろしそば
◆季節のフルーツ
◆コーヒー

Bコース 和・洋・中 料理 お一人様(税金・サービス料込) 6,000円
◆ノルウェー産サーモンと兵庫県野菜のマリネ
◆小海老とグレープフルーツのサラダ
◆お造り二種盛合せ
◆兵庫県産揚茄子 中華甘酢あんかけ
◆スズキのポワレ 地場トマトのソース
◆チキン ディアブル
◆三田こしひかり お寿司
◆兵庫県産葱の冷やしおろしそば
◆デザート盛合せ
◆コーヒー

Cコース 和・洋・中 料理 お一人様(税金・サービス料込) 8,000円
◆オードブル三種盛合せ
◆シーザーサラダ
◆シーフードマリネ
◆お造り三種盛合せ
◆ローズマリー香る チキンソテー
◆自家製ローストビーフ
＜実演＞ ◆骨付カルビのステーキ
◆三田こしひかり 握り寿司彩々
◆兵庫県産葱の冷やしおろしそば
◆季節のフルーツ&デザート盛合せ
◆コーヒー

＋ フリードリンク
●瓶ビール ●ウイスキー ●ハイボール ●芋/麦焼酎 ●赤白ワイン ●日本酒又はカクテル ●ウーロン茶 ●オレンジジュース

フリードリンクは、1アイテムにつき300円で追加できます。
追加アイテム…
酎ハイ、梅酒、カクテル、ノンアルコールビールなど

注意事項
※記載メニューは食材の入荷状況により変更する場合がございます。
※料金には、お料理、フリードリンク、基本音響、照明(マイク2本付)、会場費(2時間)の料金が含まれます。
※ご延長の際は会場費とフリードリンク代金として30分ごとに一人あたり500円(税金、サービス料込)の追加料金をいただきます。

記載プラン以外にも、ご予算に合わせたプランニングをいたします。また、その他オプション等も多数ご用意しております。お気軽にご相談ください。

ご予約・お問い合せはこちら　078－291－1110
お問い合わせ時間　平日・土 9:00～19:00　日・祝 9:00～18:00

ラッセホール
〒650-0004
兵庫県神戸市中央区中山手通4丁目10－８
TEL.078-291-1117 (代表)
FAX.078-291-0333
https://www.lassehall.com
E-mail info@lassehall.com